

大腸腫瘍に対する内視鏡的治療の普及とともに、治療後の局所再発や転移が問題となっている。そこで、本誌では2号にわたって内視鏡的治療後の再発・転移についての問題が取り上げられることになった。まず、本号は、大腸腺腫・m癌を対象を絞って、内視鏡的摘除後における局所再発の実態と対策について第一線で活躍中の経験豊富な専門家に執筆していただいた。

その要点は、①局所再発のリスクは、径20～30mm以上の病変(特に結節集簇様病変)、分割切除(特に3分割以上)で高くなる(小林ら、太田ら)、②分割切除後の穿通・穿孔例は局所再発の要因となりうる(趙ら)、③根治度判定は、摘除標本の実体顕微鏡観察と組織学的検索、摘除後の内視鏡・生検による経過観察によって行う(藤田

ら、工藤ら)、④比較的大きな病変や分割切除となった病変に対しては、治療直後に通常および拡大内視鏡を用いて切除局所を十分に観察する(工藤ら、寺井ら)、⑤局所再発は治療後約1年程度で発見されるものが多く、大部分は内視鏡的治療で対処可能な病変である(五十嵐ら)、などである。更に今回執筆された他の専門家の根治度判定についての見解もほぼ類似したものであった。

要するに、径20mmを越すような大きな腫瘍性病変を分割切除した場合が要注意であるが、最も重要なことは治療前および直後における正確な浸潤範囲および深達度診断ということになる。序説でも触れられているように、本号の情報が、画一的でない、より効率的なサーベイランスの実施・確立に大いに役立つことを切望する。

胃と腸

5月号(第34巻・第6号)予告

発売予定

5月25日

定価(本体2,100円+税)

主題/大腸sm癌の内視鏡的切除をめぐる

序説	大腸sm癌の内視鏡的切除をめぐる	川崎医大・消内	飯田 三雄
主題	大腸sm癌の転移・再発の実態	済生会熊本病院・消化器科	多田 修治・他
	早期大腸癌のX線による深達度診断	昭和大豊洲病院・消化器科	松川 正明・他
	内視鏡的切除適応拡大のための大腸sm癌の深達度診断	福岡大筑紫病院・消化器科	帆足 俊男・他
	内視鏡的切除適応拡大のための大腸sm癌の深達度診断の検討	大阪医大・2内	平田 一郎・他
	大腸sm癌に対する内視鏡的治療の可能性と危険性	自治医大・消外	小西 文雄・他
		東大・腫瘍外科	正木 忠彦・他
		広島大・1内	田中 信治・他
		札幌厚生病院・胃腸科	今村 哲理・他
		秋田日赤・胃腸センター	山野 泰穂・他
		九大・2病理	八尾 隆史・他
		大阪府立成人病センター・病理	石黒 信吾・他
		獨協医大・2病理	日比 利広・他
主題症例	内視鏡的に深達度を浅く誤診してEMRが施行されたIsp型大腸sm癌の1例	多摩がん検診センター・消化器科	中村 尚志・他
	EMRを施行した頂部に微小陥凹を有する有茎性大腸sm高度浸潤癌の1例	札幌医大・1内	有村 佳昭・他
	Ila+dep. adenomaと診断しEMR後Ila+Ila, sm ₁ であった大腸癌の1例	大阪医大・2内	森川 浩志・他
	大腸sm癌で内視鏡的切除後、骨盤内再発を呈した1例	東大・腫瘍外科	松田 圭二・他

胃と腸 (第34巻 第5号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocy@igaku-shoin.co.jp

1999年4月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,100円+税)(配送料124円)

1999年年々ぎめ予約購読料29,890円

(増刊号4,600円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1999, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 日本複写権センター委託出版物・特別扱い
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)小長谷・天野・小松原・向山